

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年10月2日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3990800041
法人名	社会福祉法人 あしずり会
事業所名	グループホーム 桜の園
所在地	〒787-0310 高知県土佐清水市浦尻431
自己評価作成日	平成21年7月29日
評価結果市町村受理日	平成21年10月5日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年8月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3990800041&amp;SCD=320">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3990800041&amp;SCD=320</a>
-------------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者のそれまでの生活を大切に、地域や人と人とのつながりを持ちながら、安心して日々を過ごしていただけるよう、職員は笑顔と温かい気持ちを持って支援に取り組んでいる。また、認知症の維持、改善を目的とした「学習療法」を採り入れ、これまでの生活歴を回想するなど前頭葉のトレーニングの時間を設け、職員がこれを支援することで利用者との関係づくりと職員のコミュニケーション能力の向上につなげている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者がこれまで慣れ親しんできた地域と人とのつながりを大切にしたい理念をつくり、職員は業務会議等で確認しながらケアに取り組んでいる。また、地元の小中学校や併設するデイサービスセンターの利用者と交流したり、地域住民から野菜や花の提供を受けるなど、地域との関わりを大切にしている。

ホームでは、認知症の進行予防を目的とした「学習療法」に取り組むことにより、利用者の生活維持と職員との関係づくりのほか職員スキルの向上に活かしており、今後とも、触れ合いを大切にしたい取り組みが期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づくケアの在り方について、職員全員がミーティング等で確認と意思統一を図り、日々、本人本位の支援に取り組んでいる。	地域密着型サービスを目指す独自の理念をつくり、業務会議等で理念を共有し、日々の業務の中で威圧的な言葉かけや態度、利用者を孤立させないなど、振り返りながら実践している。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小中学校から訪問を受けたり、デイサービス利用者との交流や地域住民の方から花苗や切花をいただくなど、日常的に交流の機会を持っている。また、地区の一斉清掃には職員が参加している。	自治会に加入していないが、地域の情報を収集し、祭りや一斉清掃など地域の行事に参加している。また、小中学校の福祉体験学習の受け入れや、併設のデイサービスセンター利用者との交流、地域住民から野菜や花の提供を受けるなど、日常的に地域と交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人が実施する介護予防教室で、認知症を抱えるご家族の相談や本人の不安や相談に応えている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回定期的に行っており、事業所の様子や問題点、研修や取組みなど項目ごとに説明報告するとともに、改善事項や改善の経過についても報告し、委員から積極的な提案や意見をいただき、サービスにつなげている。	2カ月毎に開催され、事業所から運営状況や改善課題について報告し、メンバーから積極的な意見や提案があり双方向的な会議となっている。地域交流や職員育成に関する助言等を受け運営に活かすように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所の様子や、不明な点、困った点など市の窓口を訪問して報告、相談するほか、認定更新や認定調査の際には職員が立ち会って利用者の状態やニーズなどを説明し連携を図っている。また、市から研修会の情報提供があり参加につなげている。	事業所の運営状況の報告や相談のほか、介護認定調査に立ち会い説明するなど、日々の業務の中で連携を図っている。	
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の尊厳や権利の尊重について十分理解し、身体的な拘束だけでなく言動による精神的な拘束もあることを職員会等で徹底しケアにつなげている。また、玄関の鍵はかけず開放し、外出しそうな様子がある時は職員同士でさりげなく声を掛け合い連携して見守りや付き添いのケアを徹底している。	身体拘束をしないケアについて、ケア会議や業務会議で取り上げ徹底している。また、日中は玄関に鍵をかけず、利用者の外出傾向を把握し、職員が互いに注意し合って声かけや見守りケアに取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないことがないように注意を払い、防止に努めている	業務会議等で虐待防止について理解と遵守を徹底し、日々のケアの中で、利用者の表情や外傷の状態、言葉掛けや誘導の仕方など、職員がお互い注意し合い、必要に応じて話し合っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は入所者の中に対象者はいないが、社協が行う権利擁護の研修参加職員から報告を受け、全職員で共有し制度の理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には十分時間を取り、事業所として出来ること、リスク面、医療連携体制、利用料や退所となる場合など、重要事項を詳しく説明し同意を得ている。事業の変更や改正点が生じた場合は、事前にその都度ご家族に報告し同意を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時や毎月のお便り、広報誌で事業所や利用者の状況を確認してもらい、不明な点や不安な点は何でも言ってもらえるような事業所づくりに努めている。出された意見等はミーティング等で随時話し合い、以後の取り組み方などご家族に説明している。	日々の利用者との会話や家族との面会時に、意見、要望等を把握するよう努めている。個別に出された苦情事例に対しては、原因や課題、対応方法の検討を行い運営に反映させている。	家族等の意見、要望の把握に努めているが、家族だけで話し合える場の設定や家族会の結成など、意見が出しやすい仕組みづくりについて検討されることを期待したい。
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の業務会議やミーティングの機会に食事や行事、ケアのあり方、日課や勤務時間の変更など、職員の意見を聞き見直しや改善に取り組んでいる。また、直接管理者へ言いづらいこともあると思われる、介護リーダーなど通じて聞き出している。	業務会議や朝夕の申し送り時等の機会を捉え職員の意見を聞くなかで、提案のあった、中学生ボランティアの園庭清掃の受け入れやデイサービスセンターと合同の秋祭りの実施などに取り組んでいる。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は施設へ訪問する機会も少ないが、管理者より状況の説明を行っている。今後、人事考課を適切に行い、職員が向上心を持って働けるよう配慮していく。また、運営状況のほか休憩時間の確保など、勤務条件の改善について代表者に報告、相談していく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者から代表者へ研修計画の提案を行い、新任、現任を問わず研修参加の機会は増えている。利用者との接し方や言葉掛けなどについても、その都度、現場での指導や月1回の業務会議などで確認を行ない、質の向上に努めている。また、研修を受けた職員から研修報告を提出して貰い業務会議で発表するなど、全職員に周知している。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム連合会があり、管理者、職員が参加し、各事業所での問題点や困難事例などを出し合い、協議しながらケアに活かしている。事業所で取り組んでいる学習療法の評価も高く、見学の受け入れや事例発表をしている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	関係づくりのため、まず、事前訪問して本人の心身の状態や、不安、思いに向き合い、職員がまず本人に受け入れられるよう信頼関係を築いている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の話し合いで、それまでの生活や困ったことなど、落ち着いた場所でゆっくりと話を聞きながら、事業所としての様なことが出来るか説明し、信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時には、信頼関係を崩さないよう相談員、ケアマネを交えた複数の体制で、ご本人やご家族の第一の思いを聞き、状況に応じた支援内容の説明等を行ない、必要なサービスへつなげるように心がけている。		
18		<b>○本人と共に過ごし支え合う関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩であり、介護する側される側の立場ではなく、明日はわが身という気持ちを持ち、言葉掛けや対応の仕方などに配慮し、共に生活していく場面づくりに努めている。		
19		<b>○本人と共に支え合う家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月1回の手紙や広報誌のほか、家族の来訪時に日々の様子を細かく伝えるなど、利用者と家族のつなぎ役となるよう心がけ、家族の思いを大切に利用者を共に支えていく関係を築いている。		
20	8	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の出身地など、住み慣れた地域へドライブし、地域の人達とのふれあいや、馴染みの知人宅を訪問し交流が出来るようにしている。また、法人が運営するデイサービスセンターを利用する知人との交流も行っている。	馴染みの地域へのドライブや知人宅を訪問するほか、毎週1回、併設のデイサービスセンターで地域の高齢者と交流するなど、地域とのつながりが持てるよう支援している。	
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりのその日の状態を確認し、共同生活の中で、孤立や孤独感を感じないように、言葉掛けや誘導を行い、利用者同士の交流や関係づくりの支援を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した場合は、必要に応じてこれまでの状態や支援の内容等の情報提供を行うとともに、退居後の支援について、家族や関係施設等から相談を受けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<b>○思いや意向の把握</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の利用者一人ひとりの表情や言動などを観察し、本人の心の中にある真意を探り出し、本人の立場に立って考え、職員が意見を出し合い、家族からの情報も得ながら、その人らしく生活できるよう支援している。	利用者と一緒に暮らすなかで、日々の会話や表情から、思いや意向の把握に努め、家族の意見も踏まえケアにつなげている。	
24		<b>○これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者や家族から、これまでの生活歴や生活環境の情報を得るとともに、日々の会話から、繰り返し話す内容や好みの内容、昔の出来事などを継続的に把握するよう努めている。		
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの日々の様子や体調の変化に注目し、職員全員がチームとして支えられるよう記録に残し、その日の状態による本人への関わり方など、朝夕の申し送り時等に確認を行なっている。		
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりの状況の把握や家族から要望を聞き、職員間で意見交換やモニタリング評価を繰り返しながらプランに反映させている。変更が必要な場合は、本人本位の視点を大切にして計画している。	利用者の状況や家族の意向等も踏まえ、チームで話し合い介護計画を作成し、家族に確認をしてもらっている。計画の見直しは6カ月を基本としているが、利用者の状況等に応じてその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にファイルを用意し、日々の身体的、精神的な様子を毎日記録している。いつでも全職員が確認出来るように介護計画書なども一緒にファイルし、勤務時間前に確認、共有することを義務付けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人、ご家族の状況や要望を踏まえ、職員が通院や送迎などの支援を行い、満足してもらえるよう努めている。行事等の際は、ご家族も一緒に食事するなど、事前に声掛けをしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議を通じて地域資源の把握や関係づくりに努めており、ボランティアによる催し物や環境整備、地域住民からの花苗の提供、近隣施設からのマイクロバスやリフトカーの貸し出し、定期的な訪問理容などを通じて、利用者が豊かに楽しく暮らすことができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居後、協力病院への受診を勧めることはなく、本人、家族の希望するかかりつけ医に受診している。家族の付き添いを基本としているが、家族の都合がつかない場合は職員が行い受診時や受診後の経過は家族に伝えている。</p>	<p>本人、家族の希望に沿って、かかりつけ医に受診できるよう支援している。医療機関の付き添いは家族が同行することを基本とし、家族の都合がつかない場合は職員が対応している。受診状況等について家族と情報を共有するとともに、職員は申し送りや個人記録、業務日誌で共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃の健康管理は協力病院の訪問看護師に状況を報告、相談している。特に、体調変化や異常時は、かかりつけ医や看護師に昼夜を問わず報告し、適切な医療につなげるようにしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には本人への支援方法などの情報を医療機関に提供し、職員が見舞いに行っている。また、医療機関での様子や退院の時期等について情報交換や相談をするなど医療機関との関係づくりに努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居に際して、本人、家族に重度化した場合の対応について説明し、同意書をとっているが、その時その時の本人の状況や家族の変化はあり、その都度早めの説明を行い、ご本人・ご家族の意向をまず第一に考え、かかりつけ医、看護師と連携を取り対応している。	入居時に本人、家族に重度化した場合の対応指針について説明し同意を得ている。	重度化した場合の対応について家族等に説明されているが、入所後も本人や家族等の状況の変化に応じた話し合いを行っていくことを期待したい。
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、業務会議などで全職員に周知しているが、さらに定期的な訓練や個別指導を徹底し、実践力を高めるよう取り組んでいく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、年2回、火災、避難訓練を行っている。消火器の使い方や避難経路の確認など、定期的に消防署や保安協会の協力を得て災害時の対策を行っている。	消火・避難訓練を実施しているが地域住民の参加は得ていない。また、避難経路となっている廊下から屋外に出る箇所はやや段差があること、非常用食料等の準備ができていない。	災害時には近隣住民の協力が欠かせないので、避難訓練への参加、協力を呼びかけるとともに、廊下から屋外に出る避難経路の段差の解消や非常用の食料、水の備蓄についても検討されることを期待したい。
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<b>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉掛けや誘導の仕方など、利用者の気持ちを大切に考え、プライドを傷つけないケアに努めている。また、個人情報の収集や会議や電話の際には、プライバシーの保護、守秘義務についての理解と管理を徹底している。	業務会議等の機会を捉え、利用者の人権尊重とプライバシーの確保について徹底し、日々のケアのなかで、トイレの誘導など言葉かけに留意している。	
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員から一方的に押し付けることなく、利用者が思いや希望に沿って自分で決められるように、声かけや表情を読み取るなど工夫しながら支援している。		
38		<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、利用者のその日の状態等み合わせて個々に過ごしてもらっている。利用者が出来ること、出来ないことの確認をしながらペースに合わせた支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		<b>○身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の朝や入浴後の着替えは基本的に利用者が決めているが、状況に応じて職員が好みを聞いたり、声かけをして支援している。イベントや外出の際には本人の意向を大切に身だしなみやおしゃれができるよう支援している。		
40	15	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立から野菜の収穫、食事の準備、片付けまで、利用者の希望を聞き、利用者ができることを手伝ってもらい、また、季節の食材や皿鉢料理、外食など工夫しながら食事を楽しむよう支援している。	日々の会話の中から献立の希望など聞きながら、利用者の経験や能力に応じて、調理や盛り付けなど食事の時間を楽しむよう支援している。	
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの1日の水分量を把握し、利用者の状態に応じて、食事水分のほか、嗜好品や果物、オヤツ等で確保している。また、利用者の状態に応じて代替メニューなども提供している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っており、利用者の能力に応じて、さりげなく観察しながら部分的な歯磨きの手伝いをしている。また、食前には口腔体操なども行っている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	パットや紙パンツ、失禁パンツなどは、一人ひとりの状況に合わせた使い方をしているが、排泄チェックを行い時間を見計らって誘導するなど、使用を減らすよう支援している。	排泄パターンを把握し、利用者の様子を察知しながらトイレで排泄できるよう支援している。利用者の中には適切な声かけなどの支援を行うことで、おむつからトイレでの排泄が可能になった例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分、食事、運動が大切であることを職員が理解し、排泄チェックを行いながら、水分、食事の提供、毎日の体操や運動などの支援をしている。また、主治医相談して下剤を服用するなど状況に応じて取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日本人の希望により午後の時間帯に入浴が出来るようにしている。入浴を拒否される利用者には、言葉掛けや誘導の仕方など工夫し、24時間清拭タオルを準備するとともに、入浴したい気持ちに応じて時間帯に関係なく入浴できるようにしている。	午後の時間帯を基本に、毎日入浴できる支援をしているが、希望に応じて職員1人の夜勤時間帯以外は柔軟に対応している。入浴を拒否する場合は、声かけや時間帯も柔軟に対応し、状況に応じて足浴や温かいタオルで清拭している。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠につなげるよう体調や表情を確認しながら日中の活動を促し、生活ペースに合わせて昼寝などもしている。就寝時間もその方の時間に合わせソファで職員と過ごすなどしている。また、睡眠剤を服用する場合は、日中の様子など観察している。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルへ処方箋や副作用などの説明書を保管し、処方等の変更も含め全職員が確認出来るように徹底している。また、利用者の状態に応じて主治医や看護師と連絡をとり、確実に服薬するまでの観察や誤薬のないよう個々に区分するなど徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	一人ひとりの能力や得意なことを把握し、また、何がしたいか何処へ行きたいかなど、日々の会話の中で意向を把握しながら職員から役割のお願いや楽しみごとの声かけをし、感謝の言葉を伝えている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	閉じこもりの心身機能への影響を認識し、車椅子やリフトカーを使用して身体機能に関係なく、定期的に外出やドライブが出来るよう企画している。また、家族の参加も呼びかけ、外食や弁当持参で戸外へ出かける支援もしている。	利用者の希望に応じて、毎日散歩や買物に出かける支援をしている。車いすの利用者も含めた希望者全員でマイクロバスやリフトカーで出身地区を訪ねたり外食を楽しむなどの支援をしている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	本人や家族の意向に沿って、利用者自身で金銭管理や支払をしている例や、事業所で金銭を預かり、買い物時に必要な金額を利用者に手渡すなど、状況に応じた支援をしており、預かり金については、毎月家族に報告し確認をしてもらっている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	家族等への電話は利用者の希望に沿っていつでも出来るようにし、利用者の思いを汲んで職員から声をかけたり代理で会話するなど支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p><b>○居心地のよい共用空間づくり</b></p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フローアの飾り付けや家具なども自宅だと思えるようなものを使用している。また、季節の花々を活け、季節を感じてもらえるよう工夫している。</p>	<p>広くて日当たりのよいフロアにはソファやテーブルがゆったりと配置され、壁には折り紙で作った花を飾るなど季節感の採り入れに工夫しているが、共用空間はどこも広く、家庭的な生活空間づくりに配慮して欲しい面もある。</p>	<p>共用空間は広くゆったりしているが、利用者が自宅の延長として家庭的な雰囲気、くつろいだ生活を送れるよう、利用者の思いも取り入れ、工夫されることを期待したい。</p>
53		<p><b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b></p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関やホールにソファや椅子テーブルを置き、一人で過ごしたり数人でくつろいだり出来るようにしている。植木や花など利用して圧迫感の無いように工夫し、居心地よい空間を作っている。</p>	/	/
54	20	<p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b></p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具やタンス、絨毯など利用者の思いに応じたも品々を持ち込み、馴染みの生活に配慮しているが、利用者によっては持ち込みの少ない居室もある。今後、ご家族へ協力をお願いし、なるべく馴染みの物など持ち込んでいただき、ホームでも昔馴染みの物を置くような工夫をしていく。</p>	<p>馴染みの家具や寝具を持ち込まれ、利用者一人ひとりが居心地良く過ごすことができるよう配慮しているが、持ち込みが少なく家庭的な雰囲気に乏しい居室があった。</p>	<p>居室スペースも広いため、馴染みの家具や置物の配置、家族写真や利用者の作品（塗り絵）の掲示など、更に家庭的な雰囲気づくりに配慮されることや、居室の状況に応じて家族への協力要請や事業所で工夫するなど、居心地よく過ごすことができる居室づくりの取り組みを期待したい。</p>
55		<p><b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b></p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>利用者の身体機能に合わせ、手すりの設置や介助バー、ポータブルトイレ、車椅子、歩行器など福祉用具を用意し、利用者が自立した生活ができるよう支援している。</p>	/	/

V アウトカム項目 (事業所記入)

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目	該当するものに○印	取り組みの成果
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない